

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

大杉谷国有林(三重県)におけるニホンジカによる森林被害対策に着手 ～第1回ワーキングチーム会合を開催～

三重県と奈良県境の大台ヶ原及び隣接する大杉谷国有林(大台町)においては、増えすぎたニホンジカとその他の複合的な要因により、トウヒ、ウラジロモミ、スギ、ヒノキ等の森林の衰退が進んでいます。

このため、5月22日、23日、大台ヶ原ビジターセンター及び現地において、大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針を検討するため、学識経験者、地元関係者、関係行政機関、国有林職員によるワーキングチームの第1回会合を開催しました。

初日の会合においては、当センターから、本年2月開催した準備会合における質問に対する回答、モデル事業の実施方針・実施計画の説明及びモニタリング調査等の検討を行いました。

委員からは、「実施方針に、ニホンジカによる食害により生物多様性が損なわれることを記載した方がよい」、「ニホンジカによる森林植生衰退状況調査は3年に1回となっているが、毎年ということも考えてはどうか」などの意見等がありました。

2日目は、ニホンジカによる被害により、トウヒ、ウラジロモミの衰退が進んでいる箇所を全員で確認のうえ、モニタリング調査箇所を決定しました。

なお、今年度から現地調査を実施し、4年後を目途に、ニホンジカによる森林被害対策指針を作成することとしています。

平成20年度の調査概要

- 1 糞塊密度調査
ニホンジカの生息密度を把握するための調査
- 2 ラインセンサス調査
ニホンジカの生息密度に関する季節変化等を把握するための調査
- 3 ニホンジカによる森林植生衰退状況調査
事業区域を1kmメッシュで18区画設け、各区画内でランダムに3箇所調査
- 4 固定プロット森林影響調査
(1) 正木ヶ原周辺に30m四方のプロットを3箇所設定し、立木及び稚幼樹を調査
(2) 生育している稚幼樹の内、半数は3m四方の防護柵で囲み、残りの半数は囲まずに比較
- 5 その他
自動撮影装置の設置及び自記雨量計等による微気象観測



正木ヶ原における検討の様子



ニホンジカによる食害木

「箕面体験学習の森」の整備方針固まる！ ～平成20年度第1回検討委員会を開催～

4月22日(火)の整備方針作成部会、5月19日(月)の利活用等検討部会の開催を受けて、5月29日(木)に箕面国有林において、今年度第1回目の「箕面体験学習の森」整備事業検討委員会を開催しました。

服部保委員長(兵庫県立大学教授)をはじめ7名の委員の出席により、整備方針について議論が交わされました。方針に基づく整備にあたっては、各種部会の開催などにより利用者のニーズを反映させていくこととしています。

また、モデル的に、より多様性のある森林とするため、展望台周辺などのヒノキとスギを伐採し、地域特性を考慮したクヌギ、コナラ、エドヒガンなどの広葉樹を、地元の小学校や森林ボランティアなどの協力を得ながら育成することとしています。

整備方針の概要

- 1 里山体験ゾーン
ヒノキとスギを一部伐採し、箕面に分布するクヌギ、コナラ、エドヒガンなどの広葉樹へ樹種転換
- 2 林業体験ゾーン
景観確保のための伐採及び枝条等のチップ化・散布
- 3 野外活動ゾーン
歩道整備及び樹名板設置等
- 4 青空教室エリア
パネルの整備等
- 5 その他
炭焼き体験、森林内と森林外の温度差の測定体験等



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029

URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F



自然再生推進モデル事業実施箇所位置図

① 大杉谷国有林（三重県）におけるニホンジカによる森林被害対策

② 箕面国有林（大阪府）の「箕面体験学習の森」整備事業

